

# 輝く、紀の国の

Wakayama Prefecture education public relations paper

表紙写真：旧和歌山県会議事堂での中学生熱議の様子

# 教育



夏休みの展示イベント

県立図書館 県立博物館 県立自然博物館  
県立近代美術館 県立紀伊風土記の丘

P.7

日本遺産に認定

絶景の宝庫 和歌の浦  
「最初の一滴 醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅」

P.6

きのくに教育めぐり

由良町教育委員会

P.5

きのくにコミュニティスクール

有田市

P.4

特集

P.2~3

和歌山県

教育分野のめざす将来像  
「未来を拓くひとを育む和歌山」

# 長期総合計画



# 特集 和歌山県 (2017年度～2026年度) 長期総合計画

## 「世界とつながる 愛着ある元気な和歌山」 ～県民みんなが楽しく暮らすために～



本県では、これまで2008(平成20)年に策定した長期総合計画に基づき、交通ネットワークの充実、戦略的な観光政策による観光客の増加、出産・子育て環境の充実、先進的な防災対策の推進、企業への充実した支援体制の整備など「将来を拓く礎」を築いてきました。

その計画の最終年度は2017(平成29)年度となっており、終了まであと1年を残していましたが、本県を取り巻く状況は、本格的な人口減少社会の到来や相次ぐ大規模自然災害の発生、経済・社会のグローバル化の進展、情報通信技術等の急速な進歩など大きく変動しています。

こうした時代の流れに取り残されることなく、状況の変化に適切かつ迅速に対応していくため、2017(平成29)年度から10年間の道しるべとなる新たな長期総合計画を策定しました。

県政を進める上での指針とすることはもちろんのこと、県民の皆様にも共鳴していただき、県民一人一人の主体的な活動の指針となることが重要であると考えています。

**めざす将来像**

『世界とつながる 愛着ある元気な和歌山』

- I 未来を拓くひとを育む和歌山
- II たくましい産業を創造する和歌山
- III 安全・安心で尊い命を守る和歌山
- IV 暮らしやすさを高める和歌山
- V 魅力のある地域を創造する和歌山

**将来像に向けた取組 (新たな施策体系)**

- I **ひと** を育む
- II **しごと** を創る
- III **いのち** を守る
- IV **くらし** やすさを高める
- V **地域** を創る

長期総合計画には、**教育の分野**が、**「めざす将来像I 未来を拓くひとを育む和歌山」**として最初に位置づけられています。

この計画を踏まえて、めざす将来像の実現に向けて取り組みを進めます。

### めざす将来像 I 未来を拓くひとを育む和歌山

子どもたちは、社会で生きていく上で基盤となる確かな学力、豊かな心、健やかな体の「知・徳・体」をバランスよく備えるとともに、変化の激しい時代においても自らの将来の夢や目標を実現できる新しい時代に必要な資質・能力を身につけています。また、人権を尊重し、共に助け合い支え合う地域社会の中で元気に活躍するとともに、県民みんなが「故郷への愛着と誇り」をもち続けています。



### 主な取り組み 未来を拓く子どもを育てる環境づくり

—学校教育に関すること—



- 進学意欲と学力が高いにもかかわらず、経済的理由により大学等への進学が困難な子どもを支援する給付型奨学金制度を充実します。
- 地域から学校、学校から地域への互いの要請に応えるため、「きのくにコミュニティスクール」を導入し、学校と地域をつなぐ体制を強化します。
- 基礎学力の定着や児童生徒が主体的に学ぶ授業を実践するとともに、補充学習を強化します。
- 授業での学習効果を高めるため、学校と家庭との連携を一層強化し、家庭学習の習慣化を進めます。
- 思いやりの気持ちや生命を大切にす心、規範意識を育むため、道徳教育を推進します。
- 郷土の先人や歴史、文化などへの理解を深め、ふるさとに貢献できる人を育成するため、ふるさと教育を推進します。
- 計画的な体力づくりに取り組み、体力の全国調査において全国上位をめざします。
- いじめや不登校について、学校、県、市町村、関係機関が地域と協力し、総力をあげて、その根絶・解消に取り組みます。
- 自立する力を育てるキャリア教育や、グローバル人材の育成に取り組むとともに、教育の情報化を推進します。
- すべての子どもに対する幼児期の教育を充実させるとともに、小学校教育への円滑な接続を進めます。
- 障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶことのできる多様で柔軟な仕組みを充実します。



### みんなが活躍できる社会づくり

—社会教育、文化・スポーツ等に関すること—

- 若者のそれぞれの価値観や希望に応じた就職が叶うよう支援を充実します。
- 誰もがそれぞれの体力や年齢、技能、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。
- 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会のレガシーを生かして、競技力の向上と競技人口の拡充を図ります。
- 大学、市町村、関係団体と連携し、県民の生涯にわたる学習活動の機会を提供します。
- 文化芸術を鑑賞、参加、創造することができる環境をさらに充実します。
- すべての人の人権が尊重される豊かな社会の実現をめざし、さまざまな分野における人権施策を総合的に推進します。



**その他の分野に記載のある内容**

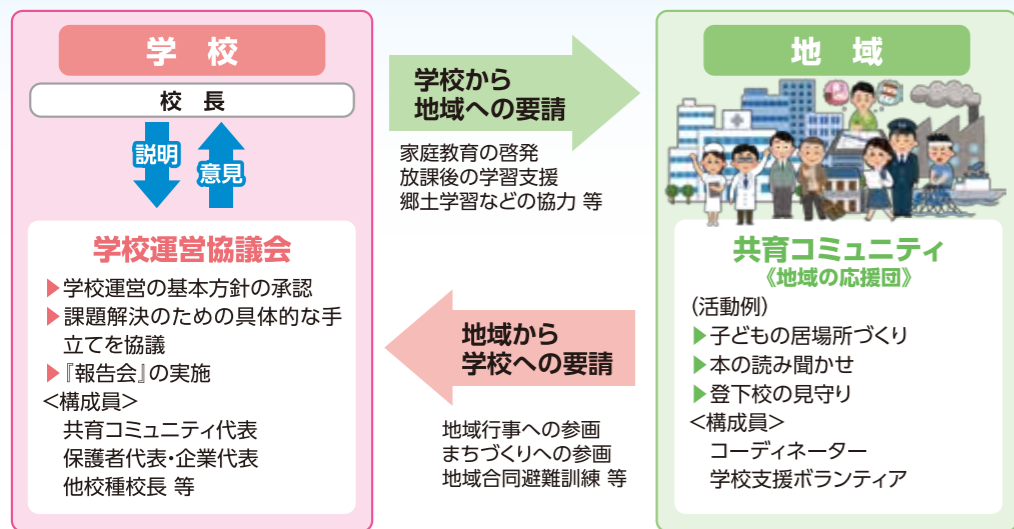
- 自らの安全を確保するための判断力や行動力を育成する防災教育を充実します。
- 本県の長い歴史の中で形成・伝承されてきた文化遺産の保存と活用を図ります。

※長期総合計画を踏まえた「第3期和歌山県教育振興基本計画」(平成30年度～平成34年度)を本年度に策定し、平成30年度から実施する予定です。



# 「きのくにコミュニティスクール」の推進

## 地域とともにある学校づくり



子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、社会総掛かりでの教育の実現が不可欠です。県では、平成29年度から3年間で県内すべての学校に「きのくにコミュニティスクール」を導入し、学校と地域をつなぐ体制を強化していきます。

地域や保護者の方々にはこれまでも様々な学校支援活動に協力いただいています。その地域や保護者からの温かい応援を基盤として、さらに当事者意識をもって学校・家庭・地域が連携・協働することで、子供の成長を支えていきます。



有田市では、平成29年度からの学校運営協議会のスタートに向けて、昨年度末に教育委員会が学校運営協議会規則を定め、各学校において学校運営協議会委員を推薦してもらうなど準備を進めてきました。

今年度、市内全小中学校（初島小・中は合同）において、学校運営協議会がスタートしました。学校と地域との連携・協働により、「地域とともにある学校」をめざして取り組みを進めています。

宮原小学校では、4月27日（木）に第1回学校運営協議会が行われました。まず、学校長から学校教育計画をもとにして教育方針の説明があり、その後、委員の方からいろいろな意見が出されました。宮原小学校の委員の皆さんは、会長をはじめ、とにかく前向きです。学校の良いところはもちろん、課題についても意見を出し合い、活発な協議を行いました。

### 協議会での意見

- ・子供と子供がつながる授業（協同学習）のメリットは大きい。
- ・生徒指導に対して、教職員が組織として取り組んでいる姿勢が頼もしい。
- ・小中連携した教育の充実を図ってほしい。
- ・学校の取り組みを知らせる「学校だより」を、ぜひカラー印刷にしたい。
- ・地域の人が集まる場として、学校で畑をつくり、みんなで野菜をつくりたい。

### 協議会後に改善されたこと・改善の方向へ進んでいること

#### ①「学校だより」をカラー印刷に！

今までは白黒だった「学校だより」をカラー印刷で地域に配るために、第1回学校運営協議会後、本協議会会長・副会長・校長で地域の連合自治会長さんのところへすぐに相談に行きました。そして、連合自治会で話し合っていたことになりました。

学校の取り組みや子供の様子をより地域の方々を知っていただきたいという思いを共有して、改善の方向へ進んでいます。カラーになった「学校だより」の発行が楽しみです。

#### ②みんなで野菜をつくらう！

5月1日。まずは土地調査から。社会福祉協議会の方と地域の方の協力で校内のどこに畑を作ったら良いかを話し合い、さっそく動き出しました。

5月5日。調査した場所を耕うん機で耕してくれました。固かった土地が掘り起こされ、作業がしやすくなりました。このあと、さらに土を耕し、子供たちが草抜きをし、石を除いた後、土を運びます。夏の環境整備作業の時には、畑の枠をコンクリートで固めて土が流れないようにする予定です。

地域の方と一緒に野菜をつくる取り組みに向けて、着々と進んでいます。



## きのくに 教育めぐり

## 教育長挨拶

### 今回は 由良町教育委員会



由良町は、「ふるさとに誇りをもち思いやりの心を持てる人づくり」を基本理念として、生涯にわたる教育の中で、幼児から高齢者まですべての人が学べる教育環境の充実に努めています。町内小学校には、明治初期に岩倉具視の欧米使節団に参加し、二階建て馬車を走らせた由良町ゆかりの由良守応（ゆらもりまさ）の肖像画が掛けられています。

平成28年度より認定こども園が教育委員会の所管となり、「由良町教育の振興に関する施策の大綱」を改定し幼児教育の充実に追加しました。町内1中学校区にこども園、3小学校があり、それぞれの特色を生かしながら、「保・小・中」と「学校・家庭・地域」の縦横の連携を大切にした教育の充実に取り組んでいます。

今年度より2年間、文部科学省委託「和歌山県人権教育研究推進事業」の地域指定を受けており、中学生やジュニアリーダーによるフラワーリンク活動・おもてなし活動、一行詩の取り組み等を通して、地域一体となり自尊心の高揚や豊かな人権感覚の育成に努めていきたいと考えています。

由良町教育委員会 教育長 寒川 正美

## きのくにコミュニティスクール～衣奈小学校運営協議会～

本町では、これまで共育コミュニティの取り組みを通して、地域の方々による学校支援活動が充実しており、地域の特性を生かした教育活動が進められてきました。昨年度よりきのくにコミュニティスクールの設置に向けた計画を立てるとともに、新年度に入り、PTA総会での保護者への説明や区長さん宅を訪問して協力を依頼するなど準備を進めてきました。こうした経過のもと、5月中旬に衣奈小学校に学校運営協議会を設置する運びとなりました。第1回の学校運営協議会では、学校長が基本的な運営方針を説明し承認を受け、子供たちの学校外の生活の様子など、協議会委員の方々による活発な話し合いが行われました。また、地域共育コーディネーターから少子化や児童減少の中、「子ども未来塾」<sup>(注)</sup>が放課後や休日の子供たちの交流の場になっていることが紹介されました。区長さんからは地元特産のワカメの養殖体験とともに、米作りの農業体験も協力していきたいと、学校支援へ積極的に関わる頼もしい意見も出されました。



きのくにコミュニティスクール導入を契機に、地域とともにある学校づくりの推進に努めていきたいと思います。  
(注) 地域住民がボランティアで個別指導や自習補助を行う学習支援事業。



## 学力向上対策～小・中連携教育の取り組み～

各校の学力向上推進プランに基づき、「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を踏まえ、全教員が校内研究授業に取り組み、授業改善・授業力向上に努めています。町内小中学校の教頭、教務主任による小・中連携部会を学期毎に開催して、「聴く力」や「自主学習」の共通課題を確認し取り組みを進めています。2学期には、町教育研究会授業研究集会を開催し、町内教職員が一堂に会し研究授業と研究協議を行い、実践交流を図っています。

保護者や地域への啓発活動として、「学校教育指導の重点」を掲げたチラシを全家庭に配布するとともに、家庭学習のルール（時間や学習内容）や携帯電話・スマートフォンの適切な使用についてのルールを決めたりするように家庭や地域への協力をお願いしています。

## スポーツで 地域を元気に！

住民の住民による住民のための「総合型地域スポーツクラブ」をめざして

### 第14弾 和北総合クラブ

昨年11月に、「生きがいづくり」「青少年の健全育成」「競技力の向上」を理念として設立しました。和歌山北高校や周辺のスポーツ・文化施設を拠点に、レスリング、なぎなた、バスケットボール、剣道、ボウリング等の教室を開催しています。

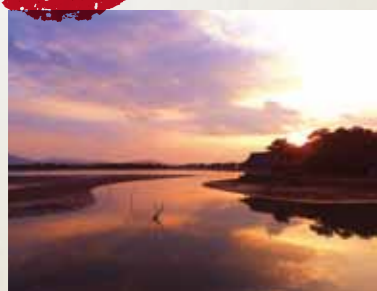
ジュニアレスリング教室は、高校の部活動とも連携しており、一緒に活動する高校生の活躍が刺激となり子供たちの高い目標設定につながっています。





日本遺産に  
認定

## 『絶景の宝庫 和歌の浦』 『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』



妹背山夕景 干潟と観海閣



大仙堀

4月28日、『絶景の宝庫 和歌の浦』『「最初の一滴」醤油醸造の発祥の地 紀州湯浅』のストーリーが日本遺産に認定され、本県では、『鯨とともに生きる』と併せて3件となりました。

和歌の浦は、刻一刻と輝きながら変化する情景を万葉歌人が和歌にうたい、数多くの文化芸術を育んできました。湯浅の町には、醤油醸造業で栄えた町並みに往時の印象的な町屋が建ち並び、醤油造りの歴史と伝統が人々の暮らしの中に今も生き続けています。

## 重要文化財に指定『旧和歌山県会議事堂』

旧和歌山県会議事堂は明治31年(1898年)に創建された建造物で、県政の中核施設として約40年の間、重要な役割を果たしました。

木造和風の議事堂として日本最古で、5月19日、国の文化審議会の答申により、重要文化財に指定されることが決定しました。

国によって文化財の歴史的価値が認められた意義は大きく、今後も県民の誇りとして、守り伝え、活用に努めていきます。



### 和歌山県中学生熟議を 旧和歌山県会議事堂で開催



6月18日(日)、旧和歌山県会議事堂(岩出市根来)において、生徒会活動に活発に取り組んでいる県内の中学生84名が集い、熟議を行いました。

自校の取り組みを発表し合い、情報共有するとともに、身近な課題の改善策について協議し、自ら解決していく方法を学びました。

参加した中学生からは、「他校の生徒と意見を交わし合うことで自分の世界が広がりました」などの感想がありました。

※熟議…合意形成を果たすためにじっくりと論議すること

## わかやまリレーマラソン ～パンダRUN～

子供から大人まで気軽に参加し、楽しめるランニングイベントとして、リレーマラソンを開催します。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

開催日時: 10月21日(土)  
コース: 田辺スポーツパーク特設コース  
部門: **A ファミリー**  
**B ハーフリレーマラソン**  
**C フルリレーマラソン**

参加料: **A** 無料、**B・C** 有料  
募集期間: 6月28日(水)～9月13日(水)

わかやまリレーマラソン～パンダRUN～



## ゴールデンキッズ 発掘プロジェクト



本年度も小学校3、4年生を対象にゴールデンキッズを募集する予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

### 体力測定会日程

第1ステージ 平成29年11月 4日(土)和歌山ビッグウエーブ  
11月 5日(日)和歌山ビッグウエーブ  
11月25日(土)田辺スポーツパーク  
第2ステージ 平成30年 1月21日(日)和歌山ビッグホール  
募集期間 平成29年9月1日(金)～30日(土)

和歌山県ゴールデンキッズ発掘プロジェクト

## 展示 イベント

夏休みには、  
企画展に行ってみよう!

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。  
※県立近代美術館、県立博物館、県立紀伊風土記の丘、県立自然博物館は、有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

県立近代美術館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690

企画展 なつやすみの美術館「すききらい、すき?きらい?」

会期 7月8日(土)～9月18日(月・祝)



間島領一(日の丸弁当)1997  
サンプル米、弁当箱、フォルモ粘土

夏休み中の子供と大人と一緒に楽しむ展示の7回目。

今回は、「すき」と「きらい」をキーワードに、食べ物モチーフにした作品から、「愛情」や自分だけがこだわった「すき」まで、時代やジャンルを超えた幅広い作品を紹介します。

県立紀伊風土記の丘 和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123



中飯降遺跡 縄文時代大型竪穴建物

夏期企画展  
「道路の下から新発見  
～京奈和自動車道建設に伴う  
発掘調査からわかったこと～」

会期 7月15日(土)～9月3日(日)

京奈和自動車道建設に伴って発掘された縄文時代から近世に至る遺構について紹介します。

秋期特別展「道が織りなす旅と文化」

会期 9月30日(土)～11月26日(日)

今回の特別展では、古代以来「道」や「旅」を通じて広がった和歌山発の宗教文化の展開を紹介します。

街道を経て、和歌山から全国へ展開していった宗教者や和歌山にやってきた参詣者の実像を、実際に使用された民俗文化財から迫るとともに、江戸時代に花開いた妖怪絵巻などの大衆を対象とした文物を紹介し、これらの文物が信仰の対象から観光的要素を強くはらんだものへ移り変わる様子をたどっていきます。



道成寺縁記(御坊市立名田小学校蔵)

予告

## 教育 ラジオ番組 定期便 教育の窓

放送日時 4月から2月までの毎月第2・第4土曜日 8:45～9:00  
WBS和歌山放送

今後の放送予定  
8/12 ●特別展「興味津々! 深海魚」  
8/26 ●「盲学校体験会で 気づく・感じる」  
9/ 9 ●「和歌山・海プロジェクト」ヨット等体験会  
9/23 ●アジア・オセアニア高校生フォーラム  
10/14 ●特別展「アメリカへ渡った二人 国吉康雄と石垣栄太郎」  
10/28 ●全国高等学校総合文化祭

県立図書館 和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500



「夏休みの展示」  
児童室では、夏休みに合わせて、実験や工作、観察などの本の展示・貸出をしています。7月中旬から行いますので、調べ学習や自由研究にぜひ利用してください。



「サマー遊ing2017」  
会期 7月19日(水)～22日(土)  
ウミガメの赤ちゃんに触れたり、勾玉作りや貝殻細工など体験型イベントを実施します。

「第24回手づくり紙芝居コンクール」ふるさと和歌山再発見!

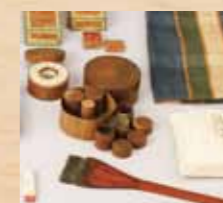
募集期間 7月21日(金)～9月10日(日)

最終審査会・表彰式 10月28日(土)13:30～16:00



和歌山をテーマにした紙芝居を募集しています。身近なふるさとを日本の誇る文化である紙芝居にしてみませんか。最終審査会では制作者の実演を行います。

県立博物館 和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670



桑山玉洲所用画材道具類(個人蔵)

夏休み企画展  
「のぞいてみよう!えのぐばこ」  
会期 7月22日(土)～9月3日(日)

江戸時代の和歌山で活躍した画家の道具と、お手本や下書き、完成作品をあわせて展示します。素敵な絵が作られる過程に出会い、画家たちの息づかいを感じていただければ幸いです。

県立自然博物館 海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

特別展 「興味津々! 深海魚」開催!

会期 7月21日(金)～8月31日(木) 会場 自然博物館レクチャールーム



紀伊半島周辺の深海魚について、江戸時代に描かれた絵や記録から最新の調査結果まで標本などを通じて紹介します。巨大なリュウグウノツカイやミツクリザメなども展示しています。

## 教育 テレビ番組 はばたく紀の国 ～教育は今～

放送日時 平成29年9月～平成30年3月の毎月第3日曜日及び平成29年11月・12月・平成30年2月の第1日曜日 午前10時30分～10時50分  
テレビ和歌山 ※すべての番組に手話通訳がつきます。

今後の放送予定

9/17 ●和歌山県が誇る文化遺産～旧和歌山県会議事堂、和歌の浦、紀州湯浅～  
10/15 ●あつまれ! GEOキッズ～君もめざそう! きのくに子ども自然博士～  
11/ 5 ●和歌山から全国へ! 全国から和歌山へ!～特別展「道が織りなす旅と文化」～

※テレビ・ラジオとも、これまでに放送した番組については、和歌山県教育委員会のホームページで公開しています。※都合により、放送内容が変更になる場合があります。





# 教育長 エッセイ

教育長 宮下 和己

## 未来を拓く ひとを育む和歌山 —世界とつながる 地域とつながる—

和歌山県では、今後10年間の道しるべとなる「和歌山県長期総合計画」を1年前倒して策定し、教育分野では、めざす将来像を「未来を拓くひとを育む和歌山」と掲げています。この「未来」には、一人一人の未来と和歌山の未来を託すという二つの思いが込められています。このため、子供たちには、「知・徳・体」を基盤とした人間としての総合力を育成するとともに、ふるさとに愛着と

誇りを持ち、将来どこにいてもふるさととつながり貢献できるような、様々な取り組みを進めてまいります。

さて、明治期以来の「知・徳・体」を一体として育む、いわゆる「日本型学校教育」は、世界中から高く評価されてきました。一方、日々生起する様々な課題にあたかも学校のみが対応する責任と役割を有しているというような認識が、近年生じやすい状況にあります。様々な社会の状況の変化を踏まえれば、「日本型学校教育」を将来にわたって維持・発展させることは可能なのか、改善すべきは何か、考える必要があります。

教育には常に変わらない「不易」と、時代に合わせて取り入れていく「流行」があります。それをしっかりと見極めることが大切です。ところで、そもそも学校、家庭、地域が有する教育機能はそれぞれ異なり、いずれか一つの教育機能のみで子供の育成が図られるものではありません。すべての子供たちが夢と志に向かって頑張れる、そのた

めには学校、家庭、地域がそれぞれの役割と責任を自覚し、社会全体で子供を育てることが不可欠です。

このような中で、学習指導要領が改訂され、社会全体で子供を育てていくという観点から、「社会に開かれた教育課程」が提起されています。長期総合計画に盛り込んだ、すべての小・中・高・特別支援学校に導入するとしている「きのくにコミュニティスクール」も、そのための大きな役割を担うものと期待しています。

県教育委員会では、長期総合計画を着実に実現し、より幅広い教育分野について具体的に進めるため、「第3期和歌山県教育振興基本計画」についても1年前倒して今年度中に策定する予定です。

和歌山は 明日を呼ぶ国  
とこしえの 若さに乗りて  
いや更に 伸びよ栄えよ  
ふるさとは つねに微笑む  
(和歌山県民歌3番から)

## お知らせ

# 高校生等奨学給付金(奨学のための給付金)制度について

高校生等の授業料以外の教育費を軽減するため、市町村民税所得割額が非課税である世帯に対し、奨学のための給付金(和歌山県高校生等奨学給付金)を給付します。



1. 申請期間 平成29年7月3日(月)～平成29年7月31日(月)

### 2. 対象

平成29年7月1日現在、以下の要件を全て満たしている方(世帯)

- ①保護者(親権者)等が生活保護を受給又は、平成29年度の市町村民税所得割額が0円(非課税)であること
- ②保護者(親権者)等が和歌山県内に住所を有していること
- ③高校生等が高等学校等就学支援金又は学び直し支援金支給の資格を有する者であること

### 3. 申請方法

- ・県内の学校へ通学されている方は学校を通じて、提出してください。通学されている高等学校等で申請書を受け取り、必要書類を添付の上、学校へ提出してください。
- ・県外の学校へ通学されている方は県へ直接申請してください。申請書は下記問い合わせ先で直接入手するか又は郵送を希望される場合、下記の問い合わせ先までその旨連絡してください。申請書等は下記ホームページアドレスからダウンロードも可能です。



ホームページ

【公立】和歌山県生涯学習課

検索

【私立】

和歌山県文化学術課

検索

問い合わせ先

【公立】県生涯学習課 奨学班 ☎ 073-441-3663

【私立】県文化学術課 学術振興班 ☎ 073-441-2098

## 和歌山県大学生等 進学給付金制度

進学意欲と学力が高いにもかかわらず、経済的な理由により大学等への進学が困難な学生を支援するため、平成30年度入学予定者を対象に、条件付きの給付金希望者を募集します。

1. 募集人数 40名

2. 給付金額 年間60万円(4年間総額240万円)

3. 申請期間 平成29年7月3日(月)～平成29年7月31日(月)

### 4. 支給要件

- ①保護者(親権者)が県内に住所を有していること
- ②保護者(親権者)の市町村民税所得割が非課税であること
- ③高校の成績が5段階評価で3.5以上であること
- ④(独)日本学生支援機構第一種奨学金の採用候補者として決定を受けていること
- ⑤県内へのUターン志望者\*であること \*原則、大学卒業後、県内に居住し就業することが必要
- ⑥大学等への進学又は修学支援を目的とした国又は和歌山県の他の事業による給付を受けていないこと

### 5. 選考方法

高校の評点(成績)に選考検査(小論文及び面接)の成績を加算した上で、**評価点等の高い者から選考**する

ホームページ

和歌山県生涯学習課

検索

問い合わせ先

県生涯学習課 奨学班 ☎ 073-441-3663

## 和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地  
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会

検索

